

12月29日：売り圧力が高まり下落

リスク回避的な動きが広がり、多くのセクターが売られる展開となった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.63%安の1,009.29ポイントで取引を終えた。VN指数は水曜日の1.10%高の1,015.66ポイントで取引を終えていた。

投資家の警戒感は低い流動性に現れている。出来高は4.6億株で売買代金は8.2兆ドンだった。

VN30指数は0.56%安の1,008.30ポイントで取引を終えた。採用銘柄の内の6銘柄が上昇、26銘柄が下落した。

Kien Thiet 証券の Do Bao Ngoc 氏によると、年末ということもあり、低い流動性となっている。

機関投資家は売り圧力にさらされており、個人も休暇に向けて現金化に急いでいる。また、好材料も特になく投資家は警戒している。

旧正月明けには流動性は改善すると同氏は予想している。その頃には個人・機関投資家はより積極的になるだろうと語った。

また、外国人投資枠の引き上げ、中国の経済活動再開、公共投資の促進、不動産業界問題の解決策などの好材料によって相場が上昇すると予想している。

多くの大型株が昨日は下落した。ビグラセラ (VGC)、ホアファットグループ

(HPG)、サイゴンビール (SAB)、BIDV (BID)、ペトロベトナムガス (GAS)、エクシムバンク (EIB)、バオベトホールディングス (BVH)、VPバンク (VPB)、アジアコマーシャル銀行 (ACB)、FPT (FPT) などが主な下落銘柄だった。

一方、上昇したのは、カンディエンハウス (KDH)、マサングループ (MSN)、ビンググループ (VIC)、ビンホームズ (VHM)、ベトコムバンク (VCB)、ノバランド (NVL) などだった。

セクターごとでは、16セクターが下落した。

上昇したセクターとしては、保険、ゴム、建設、ヘルスケアがあった。

ハノイ取引所のHNX指数は0.24%高の206.54ポイントで取引を終えた。

水曜日には 1.43% 高の 206.04 ポイントで取引を終えていた。

流動性も下落、出来高は 4,100 万株で売買代金にして 5,910 億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。